

● 資料編 ●

「NPO法人における能力開発と雇用創出に関する調査」

ご協力へのお願い

拝啓

新春の候、時下ますますご清祥の段、お喜び申し上げます。

この度は大変お忙しい中を突然、調査アンケートを配布し、ご協力をお願い申し上げますことをご容赦ください。また、なにとぞご理解とご協力のほどお願い申し上げます。

さて、NPO法が成立して5年が経ち、NPO法人も昨年末に約1万4千団体を数えるまでになりました。現在、NPO法人は小規模な団体がほとんどですが、今後の日本を担う重要なセクターとして、そしてより多くの優秀な人材が働く場として期待されております。NPO活動をサポートし、さらなる発展を確実なものとするためにも、NPOに関する労働政策のあり方を検討する必要があると考えております。

そこでこの調査では、特にNPO法人に注目し、その労働環境と能力開発への取り組みについて明らかにしたいと考えております。

この調査は、厚生労働省（職業安定局、職業能力開発局）の要請を受け実施するものです。調査分析は労働政策の構築を通して、NPO活動の発達に寄与し皆様方の現場でのお仕事にも役立つものとしたいと考えております。

ご多忙中とは存じますが、調査の主旨をなにとぞご理解の上、ご協力のほど重ねてお願い申し上げます。

敬具

平成16年 1月 9日

独立行政法人 労働政策研究・研修機構

理事長 小野 旭

裏面の注意事項をご一読の上、ご記入をお願いします。

調査票は返送用封筒に入れて1月23日までにご投函ください。切手は不要です。

裏面へ

NPO法人における能力開発と雇用創出に関する実態調査

ご記入にあたっての注意事項

1. 貴団体の活動や働き方についてよくご存じの方が回答してください。
2. 特に断りのない限り、平成16年1月9日現在の状況について記入してください。
3. 回答方法は、番号に○をつけていただくもの、設問の右にあるマス内に該当する数字をご記入いただくものがあります。設問の指示に従ってご回答ください。
4. 「その他」、「上記以外の例」に（ ）がある場合、具体的にご記入ください。
5. 回答数がマスの数よりも少ない場合は、左から順に詰めてご記入ください。
6. 調査結果の概要をご希望の方には、まとめ次第、無料で送付いたしますので、調査票の末尾に必要事項をご記入して下さい。
7. ご記入が終わりましたら、返送用封筒にいれて 1月23日(金)までにご投函下さい。
8. この調査に関して不明の点がございましたら、下記の担当者までお問い合わせ下さい。

【調査票の内容、記入方法などについての問い合わせ】

〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町18-3

ウィルワン株式会社

(ウィルワン株式会社は、当調査の調査・集計業務を
委託されています。)

担当：平井 敏行 (TEL：03-5614-7837、

Email：npo_r01@willone.co.jp)



A190058(01)

私たちウィルワン株式会社は
「プライバシーマーク」認定企業です

【調査の趣旨についての問い合わせ】

〒177-8502 東京都練馬区上石神井4-8-23

独立行政法人 労働政策研究・研修機構

(労働政策研究・研修機構 (URL:http://www.jil.go.jp) は、厚生労働省所管の独立行政法人で、労働政策の企画・立案・実施に資する研究を行っております。)

担当：小野 晶子 (TEL：03-5991-5147、FAX：03-5991-5710、Email：aono@jil.go.jp)

NPO法人における能力開発と雇用創出に関する実態調査

はじめに貴団体に活動する人達の構成について伺います。

問1. 下表で定義する人達の人数をご記入ください。いない場合には必ず「0」を記入してください。また3年前と比べた増減と現在の人数に対する過不足感に○をつけてください。(3年前に団体が存在しない場合は無記入)

名称	ことばの説明	現在(2004年1月)	3年前(2000年度)に比べて	現在人数の過不足感
役員	理事長、理事、監事など役員名簿に記載されている者	人	1. 増えた 2. 減った 3. 変わらない	1. 多い 2. 少ない 3. ちょうどよい
	役員のうち報酬を得て <u>実際に労働している者</u>	人	1. 増えた 2. 減った 3. 変わらない	1. 多い 2. 少ない 3. ちょうどよい
有給職員	フルタイムで働き、 <u>正規社員、正規従業員</u> と呼ばれるタイプの者	人	1. 増えた 2. 減った 3. 変わらない	1. 多い 2. 少ない 3. ちょうどよい
	パート、アルバイト、 <u>契約、派遣社員</u> と呼ばれるタイプの者	人	1. 増えた 2. 減った 3. 変わらない	1. 多い 2. 少ない 3. ちょうどよい
	母体や支援組織などからの出向社員。 <u>人件費は出向元負担</u>	人	1. 増えた 2. 減った 3. 変わらない	1. 多い 2. 少ない 3. ちょうどよい
有償ボランティア	給与ではないが、必要経費、謝金などの支給を受けている者	人	1. 増えた 2. 減った 3. 変わらない	1. 多い 2. 少ない 3. ちょうどよい
無償ボランティア	事務局ボランティア	人	1. 増えた 2. 減った 3. 変わらない	1. 多い 2. 少ない 3. ちょうどよい
	その他ボランティア	事務局業務以外の活動を行うボランティア	人	1. 増えた 2. 減った 3. 変わらない

問2. 貴団体の現在の総人数(ボランティアを含む)は1日8時間労働、20日出勤を1人と換算した場合、次のどれにあたりますか。(○はひとつ)

- | | |
|-------------|------------|
| 1. 1~9人 | 2. 10~99人 |
| 3. 100~999人 | 4. 1000人以上 |

有給職員を雇用している団体に伺います。有給職員を雇用していない場合は問16からお答えください。

問3. 貴団体には賃金表はありますか。正規職員、非正規職員についてそれぞれお答えください。

- | | | |
|-------|-------|-------|
| 正規職員 | 1. ある | 2. ない |
| 非正規職員 | 1. ある | 2. ない |

問4. 賃金(賞与は除く)の額は何によって変化しますか。影響の大きいものから左詰ですべて選択してください。

(影響大 → 影響小)

- | | |
|---------------|----------|
| 1. 勤続年数や年齢 | 2. 役職や職務 |
| 3. 仕事の難しさ | 4. 業績や成果 |
| 5. 変化しない(固定額) | |

【正規職員】

【非正規職員】

問5. 正規職員（定義は問1）の中で昨年度の年収の高い人と低い人の額を記入し年齢に○をつけてください。正規職員が1人、また全員同額の場合は上段だけ回答してください。（正規職員のない場合は無記入）

正規職員	おおよその年収（2002年度）		年齢	
年収の高い人 <small>（正規職員が1人または、全員同額の場合はここだけ回答してください）</small>	約	万円	1. 20歳代	2. 30歳代
			3. 40歳代	4. 50歳代
			5. 60歳以上	
年収の低い人	約	万円	1. 20歳代	2. 30歳代
			3. 40歳代	4. 50歳代
			5. 60歳以上	

問6. 非正規職員（定義は問1）の中で先月の時給の高い人と低い人の額に記入し年齢に○をつけてください。（月給、日給支払の場合は労働時間数で割って時給に換算）非正規職員が1人、また全員同額の場合は上段だけ回答してください。（非正規職員がない場合は無記入）

非正規職員	おおよその時給（2003年12月時点）		年齢	
時給の高い人 <small>（非正規職員が1人の場合、全員同額の場合はここだけ回答してください）</small>	約	円	1. 20歳代	2. 30歳代
			3. 40歳代	4. 50歳代
			5. 60歳以上	
時給の低い人	約	円	1. 20歳代	2. 30歳代
			3. 40歳代	4. 50歳代
			5. 60歳以上	

問7. 正規職員（定義は問1）の1週間あたりの標準的な実労働時間（残業も含む）は何時間ですか。また週所定労働時間がある場合は記入してください。

【実労働時間】 時間/週 【所定労働時間】 時間/週

問8. 非正規職員（定義は問1）の1週間あたりの労働時間を下のように分けた場合、すべての非正規職員数の割合はどのようになっていますか。四捨五入して合計が100%になるように記入して下さい。（非正規職員がない場合無記入）

週 10 時間未満	<input type="text"/>	<input type="text"/>	%
週 10～20 時間未満	<input type="text"/>	<input type="text"/>	%
週 20～30 時間未満	<input type="text"/>	<input type="text"/>	%
週 30～40 時間未満	<input type="text"/>	<input type="text"/>	%
週 40 時間以上	<input type="text"/>	<input type="text"/>	%
合 計	1 0 0		%

問9. 下のように職員の活動形態が変わった例はありますか。（○はいくつでも）

1. 非正規職員から正規職員に変わった例がある
2. 有償ボランティアから有給職員になった例がある
3. 無償ボランティアから有給職員になった例がある
4. 上記以外の例（具体的に： _____ ）
5. 変わった例はない

付問 1. 50 歳以上の方を採用した理由は何ですか。主なものを正規職員と非正規職員に分けて 2 つずつ選択してください。

- | | | |
|--------------|-------------|----------------|
| 1. 指導力がある | 2. 人脈が広い | 3. 経験・知識が豊富である |
| 4. 熱意・意欲が高い | 5. 社会的信用がある | 6. 年齢に関係なく採用した |
| 7. その他（具体的に： | | ） |

	主なものから→		主なものから→				
【正規職員】	<table border="1" style="display: inline-table; width: 60px; height: 40px;"><tr><td style="width: 30px;"></td><td style="width: 30px;"></td></tr></table>			【非正規職員】	<table border="1" style="display: inline-table; width: 60px; height: 40px;"><tr><td style="width: 30px;"></td><td style="width: 30px;"></td></tr></table>		

問 15. 過去 3 年間に正規職員で貴団体を退職した人はいますか。（○はひとつだけ）

1. いる →付問 1、2、3 にお答えください 2. いない →問 16 へ

付問 1. 貴団体での経験を活かして転職したと思われる人はどのくらいいますか。（○はひとつだけ）

- | | | |
|----------|-----------|------------|
| 1. ほぼ全員 | 2. 半数より多い | 3. 半数より少ない |
| 4. ほぼいない | 5. わからない | |

付問 2. 貴団体での経験を活かして転職したと思われる人にどの年代が多いですか。（○はいくつでも）

- | | | | |
|-----------|-----------------------|----------|----------|
| 1. 20 歳代 | 2. 30 歳代 | 3. 40 歳代 | 4. 50 歳代 |
| 5. 60 歳以上 | 6. キャリアを活かして転職した者はいない | | |

付問 3. 貴団体を退職した方の転職先はどのようなところですか。（○はいくつでも）

- | | |
|------------------|-----------------------|
| 1. 一般企業（役員、正規社員） | 2. 他 NPO や団体（役員、正規職員） |
| 3. NPO 創設、自営業 | 4. 上記に該当するものはない |

ボランティアがいる団体にお伺いいたします。有償ボランティアがいない場合は問 20 からお答えください。

問 16. 貴団体では有償ボランティアにどのような経費や報酬を支給していますか。（○はいくつでも）

- | | |
|--------------------------|-----------------|
| 1. 交通費など活動経費の実費支給 | 2. 活動経費として一定額支給 |
| 3. エコマネー（地域通貨）などの支給 | 4. 謝礼的な金銭の支給 |
| 5. （海外派遣など）滞在先での生活費などの支給 | |
| 6. その他（具体的に | ） |

問 17. 現在活動している有償ボランティアにはどのような人が多いですか。（○は 2 つまで）

- | | |
|----------------------|------------------|
| 1. 一般企業の正規社員 | 2. 他 NPO、団体の正規職員 |
| 3. パート、アルバイト、契約、派遣社員 | 4. 定年退職後の高齢者 |
| 5. 主婦 | 6. 学生 |
| 7. 上記以外 | |

問 18. 有償ボランティアには、有給職員との仕事内容や雇用制度適用の違いなどを説明していますか。（○はひとつ）

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 文書で説明している | 2. 口頭で説明している |
| 3. 特に説明していない | 4. 有給職員がいない |
| 5. わからない | |

問 19. 有償ボランティアの仕事内容や活動条件について、どの程度取り決めていますか。(それぞれについて○は1つ)

(いない場合は無記入)	明確に決めている	ある程度決めている	あまり明確に決めていない	取り決めていない
経費や報酬の支給内容	1	2	3	4
仕事の種類や範囲	1	2	3	4
誰の指揮の下で働くか	1	2	3	4
勤務する日数や時間	1	2	3	4
勤務する場所	1	2	3	4
事故などの場合の補償	1	2	3	4

ここからは全員がお答えください。該当する形態の職員、ボランティアがない場合、枠は無記入で結構です。

問 20. 貴団体でボランティアが必要な理由を下から選択してください。該当するすべての理由に○、もっとも重要な理由1つに◎をつけてください。

- | | |
|--------------------|-------------------------|
| 1. 事業の中心的業務に対応するため | 2. 事業のサポート、補助的業務に対応するため |
| 3. 専門的業務に対応するため | 4. 有給職員を雇えない、人件費節約のため |
| 5. 活動の輪を広げるため | 6. 必要な時に来てくれるから |
| 7. 場が盛り上がり、活気づくから | 8. その他 |

問 21. 貴団体では職員やボランティアにどのような教育訓練をおこなっていますか。貴団体が費用負担しているものについてお答え下さい。(○はいくつでも)

	正規職員	非正規職員	有償ボランティア	無償事務局ボランティア
1. 先輩などが仕事を通じて教える	1	1	1	1
2. 団体で開催している講座やセミナーに参加する	2	2	2	2
3. 外部の講座やセミナーに参加する	3	3	3	3
4. 通信教育	4	4	4	4
5. その他	5	5	5	5
6. 特におこなっていない	6	6	6	6

問 22. 現在不足しているのはどのような人材ですか。また今後必要と思われる人材を3つ選んでください。

	現在不足している人材 (すべてに○)	今後必要となる人材 (3つ○)
1. パソコン操作が得意な人	1	1
2. 企画能力に優れている人	2	2
3. 専門の知識や経験が豊富な人	3	3
4. 会計、経理に明るい人	4	4
5. 人事、労務、教育訓練に明るい人	5	5
6. 法律、行政制度に明るい人	6	6
7. 資金集めが得意な人	7	7
8. 団体運営全般ができる人	8	8
9. 交渉、対外折衝が上手い人	9	9
10. 人脈が豊富な人	10	10
11. 年齢の若い人	11	11
12. 体力に自信がある人	12	12

問 23. 貴団体の人材活用上の課題は何ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1. 労働条件や就業環境の改善 | 2. 職員やボランティアの定着率の向上 |
| 3. 職員やボランティアの責任感の向上 | 4. 職員やボランティアの専門能力の向上 |
| 5. 団体内部のコミュニケーションの円滑化 | 6. 役員層の人材確保 |
| 7. 有給職員層の人材確保 | 8. ボランティア層の人材確保 |
| 9. 後継者探し、後継者育成 | 9. その他(具体的に:) |

問 24. 貴団体はどのような方法で職員やボランティアを採用しますか。主なものから 2つ選択してください。現在採用していない団体は今後の見込みでお答えください。

- | | | |
|------------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 1. 雑誌や新聞広告などを通じての募集 | (正規職員)
主なものから一 | (非正規職員)
主なものから一 |
| 2. 学校、各種団体等でのポスター、広告の掲示による募集 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 3. ハローワークを通じての募集 | (有償ボランティア)
主なものから一 | (無償事務局ボランティア)
主なものから一 |
| 4. インターネット上での募集 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 5. 団体関係者からの紹介 | | |
| 6. 団体関係者の友人、知人、縁者からの紹介 | | |
| 7. 採用の予定はない | | |

問 25. 貴団体には個人的に請負や委託で働いている人はいますか。いる場合どのような仕事内容か簡単に記入してください。(〇はひとつだけ)

1. いる
2. いない

(例：個人でホームページ作成業務の請負、チラシの作成請負、技術指導員など)

問 26. 昨今若年層の就職難が問題となっていますが、貴団体には学校を卒業してそのまま貴団体の非正規職員またはボランティアとして活動している人はいますか。(〇はひとつだけ)

1. いる 2. いない

問 27. 貴団体ではトライアル雇用（短期間試しに雇い、適性などを実際に見極めた上で本採用する）を行っていますか。

1. 行っている 2. 行っていない

問 28. 法律で定められている最低賃金（「最低賃金法」に基づいて国が定めている賃金の最低限度額）を知っていますか。(〇はひとつだけ)

1. 貴団体の地域の最低賃金額を知っている
2. 法律は聞いたことはあるが最低賃金額は知らない
3. 聞いたことがない

問 29. 貴団体では国で定められている最低賃金についてどのようにお考えですか。(〇はひとつだけ)

1. NPO といえども、守るべきである
2. NPO 創設時期など、一定期間は基準を低くすべきである
3. NPO には恒常的に基準を低くすべきである
4. NPO への適用は除外すべきである
5. わからない

問 30. NPO には最低賃金の適用が難しいともいわれていますが、その理由をどのように考えますか。(○はいくつでも)

1. 有償ボランティアなど雇用関係にあるかどうか明確でない人がいるから
2. 活動は自発的な行動で活動者本人も使用者、雇用者の認識を持たないから
3. 社会貢献目的や生き甲斐を最優先に働く者が多く、報酬は労働への対価ではないから
4. 働き方が多様で自己裁量が大きく、法律で一律に規制するのになじまないから
5. 財政的に苦しく人件費を捻出するのが難しいから
6. 適用は難しい
7. わからない
8. その他（具体的に： _____)

問 31. 貴団体の人材確保、能力開発へのサポートに関して国や自治体に期待することは何ですか。(○はいくつでも)

1. ハローワークなどで NPO が必要とする求職者情報を提供する
2. ハローワークなどのキャリアカウンセリングにおいて NPO を有力な就職先候補とする
3. 国や自治体、その他公的団体に NPO の人材管理に関する相談窓口を設ける
4. 職業訓練コースやセミナーなどで NPO に必要な教育訓練の場を提供する
5. 国や自治体で共通した能力評価制度を整備し、人材のマッチングを行いやすくする
6. その他（具体的に： _____)

問 32. 今後 3 年間で増やそうと考えている職員やボランティアをすべて選んでください。資金的制約が大きい場合と小さい場合に分けてお答えください。

- | | | |
|---------------|----------------|-----------------|
| 1. 正規職員 | 2. 非正規職員 | 3. 出向職員 |
| 4. 有償ボランティア | 5. 無償事務局ボランティア | 6. その他の無償ボランティア |
| 7. 現行のままで対応する | 8. その他 | |

資金的制約の大きい場合

--	--	--	--	--	--

資金的制約の小さい場合

--	--	--	--	--	--

問 33. 今後 3 年間で重点的に強化しようと考えている運営戦略は何ですか。(○はいくつでも)

1. 資産を増やす
2. 自主財源（寄付、会費、自主事業収入）を増やす
3. 認定 NPO 法人になる
4. 活動時間や日数を延ばす
5. 行政との連携を深める
6. 企業との連携を深める
7. 他 NPO との連携を深める
8. 学校や教育機関との連携を深める
9. 労働組合との連携を深める
10. その他（具体的に： _____)

貴団体の概要についてお伺いします。

問 34. 貴団体の活動分野を主なものから順に選択してください。

- | | | |
|-------------------|--------------|--------------|
| 1. 保健・医療・福祉 | 2. 社会教育 | 3. まちづくり |
| 4. 学術・文化・芸術・スポーツ | 5. 環境保全 | 6. 災害救援 |
| 7. 地域安全 | 8. 人権擁護・平和 | 9. 国際協力 |
| 10. 男女共同参画 | 11. 子どもの健全育成 | 12. NPO 支援 |
| 13. 情報化社会の発展 | 14. 科学技術の振興 | 15. 経済活動の活性化 |
| 16. 職業能力開発・雇用機会拡充 | 17. 消費者保護 | |

主なものから→

--	--

問 35. 貴団体が設立されたのはいつですか（任意団体設立時）。

西暦 _____ 年

問 36. 貴団体の所在地（複数の場合は中心となる事務所）はどこですか。（○はひとつだけ）

1. 政令指定都市 2. 県庁所在地またはそれに準ずる都市 3. その他の市町村

問 37. 貴団体の活動頻度はどの程度ですか。（○はひとつだけ）

1. 土日を含む毎日（週7日） 2. 週5、6日 3. 週半分程度
4. 週1、2日 5. その他

問 38. 貴団体に加入している保険を選択してください。（○はいくつでも）

1. 雇用保険 2. 厚生年金 3. 健康保険 4. 労災保険
5. ボランティア保険 6. その他 7. いずれも加入していない

問 39. 3年前（設立していない場合は無記入）と昨年度の資産、収入とそのうち行政からの委託事業収入を記入してください。千円単位は四捨五入し、0円場合は必ず「0」とご記入ください。

	年 月	資産（財産）	年間収入	
				うち行政からの 委託事業収入
3年前	2000年度（平成12年度）	万円	万円	万円
昨年度	2002年度（平成14年度）	万円	万円	万円

問 40. NPOは今後、雇用の受け皿になりうると思いますか。ご意見を是非ご記入ください。

問 41. 本調査の報告書をご希望の団体は送付先をご記入ください。また、来年にインタビュー調査を予定しておりますが、該当するものに○をつけてください。

インタビューは… （1. 可能 2. 場合によっては可能 3. 不可能）

お名前：

報告書送付先：

お電話番号：

E-mail：

お忙しい中、ご協力本当にありがとうございました。1月23日までに返信用封筒に入れ、切手を貼らずに投函してください。今後ともさらなるご活躍をお祈りいたしております。

企業との連携と有償ボランティアの活用についての調査

ご記入にあたっての注意事項

1. 特に断りのない限り、平成16年9月1日現在の状況について記入してください。
2. 回答方法は、番号に○をつけていただくもの、設問の右にあるマス内に該当する数字をご記入いただくものがあります。設問の指示に従ってご回答ください。
3. ご記入が終わりましたら、返送用封筒に入れて9月24日(金)までにご投函下さい。

●NPOと企業との関わりについて伺います。

問1. 企業とはどのような関わりをもっていますか。(○はいくつでも)

1. 企業との関わりはない
2. 寄付金を受けている
3. 法人会員として入会してもらっている
4. 事業に協賛してもらっている
5. 共同(出資)で事業を行っている
6. 事務所や会議室などの場所を無償または安価で提供してもらっている
7. 製品や社内備品などの物品を無償または安価で提供してもらっている
8. ボランティアに来てもらっている
9. 理事など役員になってもらっている
10. 職員を派遣してもらっている
11. 講師・専門家の派遣や、技術・技能・ノウハウの提供を受けている
12. その他

→問5~6へ

→問2~4へ

問2. 企業との関わりのきっかけは何でしたか。(○はいくつでも)

1. 企業に直接話を持っていった
2. 企業から打診があった
3. 中間支援団体やサポート機関の仲介があった
4. 貴団体役職員の個人的な人脈による紹介
5. 企業に勤めている(いた)ボランティアから勤務先等を紹介された
6. 地元、活動地域との関わりの中で紹介された
7. その他

問3. 関わりをもっている企業は何社ですか。

 社

問4. 関わりをもっている企業の規模はどれくらいですか。(○はいくつでも)

1. 小企業(常用雇用者30人未満)
2. 中企業(常用雇用者300人未満)
3. 大企業(常用雇用者300人以上)

●次に、問7へおすすみください。

●問5、6は企業と関わりをもっていない団体（問1で1.を選択）に伺います。

問5. 企業と関わりをもっていない理由は何ですか。（○は3つまで）

1. 企業にアプローチしたが、断られた
2. 連携できるような企業を知らない
3. 団体内に連携を行える人材がない
4. 連携に必要な手続きやノウハウがわからない
5. 企業の営利性とNPOの非営利性は相容れない
6. 自分たちの活動が制限されるのでは、という不安がある
7. 企業と連携してもメリットはない
8. 特に理由はない
9. その他

問6. 今後、企業と関わりをもつことを考えていますか。（○はひとつだけ）

1. 連携先を探している
2. まだ具体的な連携先を探してはいないが、検討はしている
3. 特に検討はしていないが、機会があれば連携したい
4. 連携するつもりはない

●問7は全員がお答えください。

特に人材面で企業と関わりをもつことで望むことは何ですか。（○はいくつでも）

1. 人材を派遣してもらいたい
2. NPO職員を企業で教育訓練してもらいたい
3. 技術・技能・マネジメント等のノウハウの提供を受けたい
4. ボランティアに来てもらいたい
5. 講師・専門家を派遣してもらいたい
6. 理事など役員になってもらいたい
7. 定年退職者をボランティアや職員として受け入れたい
8. 特に望むことはない
9. その他

●有償ボランティア（給与としての支払いはないが、経費や謝礼等の支給を受けるボランティア）についてお伺します。有償ボランティアがない場合は問14にお進み下さい。

問8. 有償ボランティアへの支給方法は下記の中のどれにあたりますか。（○はいくつでも）

1. 謝礼的な金銭の支給 →付問1、2へ
2. 活動経費の一定額支給 →付問1、2へ
3. 活動経費の実費支給、その他の支給方法 →3.だけに○をした方は問9～13へお進みください

付問1. 謝礼金支給と一定額支給の支給方法（○はひとつ）と、その支給額を記入してください。

●謝礼金支給	(1. 1時間あたり 2. 1回あたり 3. その他 ())	<input type="text"/>	円
--------	---	-------------------------------------	---	----------------------	---

●経費一定額支給	(1. 1時間あたり 2. 1回あたり 3. その他 ())	<input type="text"/>	円
----------	---	-------------------------------------	---	----------------------	---

付問2. 支給額は主にどのようなことを参考にして決めていますか。(枠内に数字を書き込んでください)

1. 同種他団体等の同様の活動の支給額
2. 地域の最低賃金を上回らない支給額
3. 有給職員の賃金を下回る支給額
4. 本人との話し合いで決める
5. 交通費などかかる経費のおよその額
6. 特に参考にしていないものはない
7. その他

(謝礼金支給) (経費一定額支給)

--	--

問9. 有償ボランティアと無償ボランティアの仕事内容はどの程度異なりますか。(○はひとつだけ)

1. 全く同じ	2. ほぼ同じ	3. 一部同じ
4. 全く異なる	5. 無償ボランティアはいない	

→付問1へ

→問10~13へ

付問1. 有償ボランティアの能力、意識等は無償ボランティアとどのように異なりますか。(同じ仕事を想定してお答え下さい)(それぞれについて○はひとつだけ)

	無償ボランティア が上回る	無償ボランティア がやや上回る	同程度	無償ボランティア がやや下回る	無償ボランティア が下回る
●技術・技能のレベル……………	1	2	3	4	5
●仕事への責任感……………	1	2	3	4	5
●定着性……………	1	2	3	4	5
●管理の手間、費用……………	1	2	3	4	5
●必要に応じた活用のしやすさ……	1	2	3	4	5

問10. 有償ボランティアと有給職員(正規職員がいる場合には正規職員と、正規職員がいない場合には非正規職員(パート、アルバイト等)と比較する)の仕事内容はどの程度異なりますか。(○はひとつだけ)

1. 全く同じ	2. ほぼ同じ	3. 一部同じ
4. 全く異なる	5. 有給職員はいない	

→付問1へ

→問11~13へ

付問1. 有償ボランティアの能力、意識等是有給職員(正規職員がいる場合には正規職員と、正規職員がいない場合には非正規職員(パート、アルバイト等)と比較する)とどのように異なりますか。(同じ仕事を想定してお答え下さい)(それぞれについて○はひとつだけ)

	有給職員が上回る	有給職員がやや上回る	同程度	有給職員がやや下回る	有給職員が下回る
●技術・技能のレベル……………	1	2	3	4	5
●仕事への責任感……………	1	2	3	4	5
●定着性……………	1	2	3	4	5
●人件費コスト……………	1	2	3	4	5
●必要に応じた活用のしやすさ……	1	2	3	4	5

問11. 有償ボランティアが活動中にケガや交通事故等を起こした場合、貴団体ではどのように対応していますか。(〇はひとつだけ)

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1. すべて団体が対応している | 2. すべて個人が対応している |
| 3. ケースによって団体が対応している | 4. 特に対応策はない |

問12. 有償ボランティアを活用する理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| 1. 事業の中心的業務に対応するため | 2. 事業のサポート、補助的業務に対応するため |
| 3. 社会保険等の手続きが不要であるため | 4. 有給職員を雇えない、人件費の節約のため |
| 5. 専門業務に対応するため | 6. 高齢者の活用のため |
| 7. 即戦力・能力のある人材を確保するため | 8. ボランティアという形態にこだわるため |
| 9. 活動の輪を広げるため | 10. その他 |

問13. 有償ボランティアの存在について、良かったこと、困ったことなどお聞かせ下さい。

●貴団体についてお伺いします。(全員の方への質問)

問14. 下表で定義する人員について、男女の割合を下記の選択肢から選んでご記入ください。該当する人員がない場合には必ず6を記入してください。

全体	役員	有給職員		有償ボラン ティア	無償ボランティア	
		正職員	非正職員		事務局ボラン ティア	その他ボラン ティア

男性だけ、あ るいは男性が ほとんど	やや男性が 多い	男女はほぼ 同じくらい	やや女性が 多い	女性だけ、あ るいは女性 がほとんど	そのような人 員はいない
1	2	3	4	5	6

問15. 前回の調査結果から、NPO での経験を活かして転職している例のあることがわかりましたが、貴団体の活動を通じて得られる経験や技能などについて、企業などで働く場合でも通用すると思われるものはありますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|------------------------------|----------------------|
| 1. 事務的能力(経理、書類作成、パソコンの技術など) | 2. 活動分野の専門知識や技術 |
| 3. 管理的能力(組織運営、人員の統括など) | 4. 企画的能力(計画、立案、提言など) |
| 5. 対人関係に関する能力(交渉、営業、礼儀、人脈など) | 6. 特にな |

問16. 貴団体の設立および運営に深く関わっている主な組織はどれですか。(〇はひとつだけ)

- | | | | | |
|-------------|-------|----------|--------|--------|
| 1. 自治体、行政機関 | 2. 企業 | 3. その他法人 | 4. 特にな | 5. その他 |
|-------------|-------|----------|--------|--------|

問17. 貴団体の 2002 年度(昨年ではありません)の年間収入の内訳について、以下のそれぞれの項目の金額をお答えください。(実績がない場合は空欄で結構です)

①法人会員費収入	▶ 法人会員数	②企業からの寄付 金・協賛金等収入	③自主事業収入
万円	社	万円	万円

質問は以上です。お忙しい中、ご協力ありがとうございました。
9月24日(金)までに返信用封筒に入れ、切手を貼らずに投函してください。

「NPO活動と就業に関する実態調査」

ご協力へのお願い

拝啓

猛暑の候、時下ますますご清祥の段、お喜び申し上げます。昨年度来、実施しております当機構のNPOに関する一連の調査にご協力をいただき心より感謝申し上げます。

この度の調査票は、昨年実施した「NPO法人における能力開発と雇用創出に関する調査」、および、「企業の連携と有償ボランティアの活用についての調査」にご回答いただいたNPOを対象に郵送しております。今回の個人調査によって一連の調査が完結いたします。なにとぞご理解の上、今一度ご協力のほどお願い申し上げます。

さて、昨年の団体調査では、NPO法人1団体あたり有給職員は平均4.9人、ボランティアは平均11.7人が活動していることがわかりました。また、過去3年間で有給職員は増加傾向にあり、今後も有給職員を増やす傾向にあることが明らかになりました。

NPOが働く場となるには、まだまだ多くの課題が残されていますが、今後の日本を担う重要なセクターとして、より多くの優秀な人材が働く場として期待されております。NPO活動をサポートし、さらなる発展を確実なものとするためにも、NPOに関する労働政策のあり方を検討する必要があると考えております。

そこで今回の調査では、特にNPOを担う個人に注目し、その活動内容や意識について明らかにしたいと考えております。調査結果は今年度中に報告書としてまとめ、今後の労働政策の立案に役立てます。報告書は当機構のホームページ(<http://www.jil.go.jp>)で全文ご覧いただくことが可能です。

なお、本調査につきましては、株式会社日経リサーチに委託して実施いたします。当調査では団体名はIDとして認識されますが、個人は特定されません。また、ご記入いただいた情報は学術的な調査分析以外の目的には使用いたしません。

ご多忙中とは存じますが、調査の趣旨をなにとぞご理解の上、ご協力のほど重ねてお願い申し上げます。

敬具

2005年 7月

独立行政法人 労働政策研究・研修機構

裏面の注意事項をご一読の上、職員・ボランティアの方への配布をお願いします。

裏面へ

【調査票配布にあたっての注意事項】

1. 調査票は一般用（ピンク）と事務局長用（グリーン）の2種類あります。
2. 一般用の調査票は、有給職員と無給職員（ボランティアなどで半年以上定期的に活動を続けていらっしゃる方）を対象に配布してください。
3. 事務局長用の調査票は、事務局長に配布してください。
4. 調査票はあらかじめ返送用封筒の中に入れておきますので、各職員の方には返送用封筒ごとお渡しください。
5. 調査票は、返送用封筒に入れて8月31日（水）までに各職員の方から直接返送していただく形になります。切手を貼らずに封をして投函してください。
6. 調査票を返送していただいた団体には、調査報告書（要約版）を送付させていただきます。
7. 昨年12月の調査時点の貴団体職員数を参考にして調査票を送付させていただきました。20名以上の団体には21枚を上限にお送りいたしました。
8. 調査に関するお問い合わせは下記の担当者までお願いいたします。

【調査票の内容、記入方法などについての問い合わせ】

〒101-0048 東京都千代田区神田司町2-2-7

株式会社日経リサーチ

（株式会社日経リサーチは、当調査の調査・集計業務を委託されています。）

担当：福島、富田、稲葉

TEL：03-5296-5128、Email：inaba@nikkei-r.co.jp



【調査の趣旨についての問い合わせ】

〒177-8502 東京都練馬区上石神井4-8-23

独立行政法人 労働政策研究・研修機構

（労働政策研究・研修機構（<http://www.jil.go.jp>）は、厚生労働省所管の独立行政法人で、労働政策の企画・立案・実施に資する研究を行っております。）

担当：小野 晶子

TEL：03-5991-5147、Email：aono@jil.go.jp

「NPO活動と就業に関する実態調査」

ご協力へのお願い

拝啓

猛暑の候、時下ますますご清祥の段、お喜び申し上げます。昨年度来、実施しております当機構のNPOに関する一連の調査にご協力をいただき心より感謝申し上げます。

この度の調査票は、昨年実施した「NPO法人における能力開発と雇用創出に関する調査」、および、「企業の連携と有償ボランティアの活用についての調査」にご協力いただいたNPOを通じて、有給職員とボランティアの方にお配りしております。今回の個人調査によって一連の調査が完結いたします。なにとぞご理解の上、ご協力のほどお願い申し上げます。

さて、昨年の団体調査では、NPO法人1団体あたり有給職員は平均4.9人、ボランティアは平均11.7人が活動していることがわかりました。また、過去3年間で有給職員は増加傾向にあり、今後も有給職員を増やす傾向にあることが明らかになりました。

NPOが働く場となるには、まだまだ多くの課題が残されていますが、今後の日本を担う重要なセクターとして、より多くの優秀な人材が働く場として期待されております。NPO活動をサポートし、さらなる発展を確実なものとするためにも、NPOに関する労働政策のあり方を検討する必要があると考えております。

そこで今回の調査では、特にNPOを担う個人に注目し、その活動内容や意識について明らかにしたいと考えております。調査結果は今年度中に報告書としてまとめ、今後の労働政策の立案に役立てます。報告書は当機構のホームページ(<http://www.jil.go.jp>)で全文ご覧いただくことが可能です。

なお、本調査につきましては、株式会社日経リサーチに委託して実施いたします。当調査では貴方の所属するNPOはIDとして認識されますが、貴方自身は識別されません。また、ご記入いただいた情報は学術的な調査分析以外の目的には使用いたしません。

ご多忙中とは存じますが、調査の趣旨をなにとぞご理解の上、ご協力のほど重ねてお願い申し上げます。

敬具

2005年 7月

独立行政法人 労働政策研究・研修機構

裏面の注意事項をご一読の上、調査票のご回答をお願いします。

調査票は返送用封筒に入れて**8月31日まで**にご投函ください。切手は不要です。

裏面へ

【ご記入にあたっての注意事項】

1. 特に断りのない限り、2005年7月1日現在の状況について記入してください。
2. この調査票を受け取ったNPOについてお答えください。設問中の「現在のNPO」とは、この調査票を受け取ったNPOのことです。
3. 回答方法は、番号に○をつけていただくもの、下線やマス内に該当する数字をご記入いただくものがあります。設問の指示に従ってご記入ください。
4. 「その他」に（ ）がある場合、具体的にご記入ください。
5. ご記入が終わりましたら、調査票の入っていた返送用封筒に入れて8月31日(水)までにご投函下さい。
6. 調査票を返送していただいた場合には、団体宛に調査報告書（要約版）を送付させていただきます。
7. この調査に関して不明の点がございましたら、下記の担当者までお問い合わせ下さい。

【調査票の内容、記入方法などについての問い合わせ】

〒101-0048 東京都千代田区神田司町2-2-7

株式会社日経リサーチ

(株式会社日経リサーチは、当調査の調査・集計業務を委託されています。)

担当：福島、富田、稲葉

TEL：03-5296-5128、Email：inaba@nikkei-r.co.jp



【調査の趣旨についての問い合わせ】

〒177-8502 東京都練馬区上石神井4-8-23

独立行政法人 労働政策研究・研修機構

(労働政策研究・研修機構 (<http://www.jil.go.jp>) は、厚生労働省所管の独立行政法人で、労働政策の企画・立案・実施に資する研究を行っております。)

担当：小野 晶子

TEL：03-5991-5147、Email：aono@jil.go.jp

問 7. 現在の NPO での活動をあなたと一緒にいる人をすべてお答えください。(○はいくつでも)

1. 家族
2. 職場の人
3. 地域の人
4. (活動を始める以前の) 友人・知人
5. その他(具体的に:)

問 8. 現在の NPO でのあなたの活動形態をお答えください。(○は1つ)

- | |
|---|
| 1. 正規職員(フルタイムで働き、一般企業では正規社員と呼ばれるタイプの有給職員) |
| 2. 非正規職員(パート、アルバイト、契約、派遣社員と呼ばれるタイプの有給職員) |
| 3. 有償ボランティア(必要経費や謝金などの支給を受けているボランティア) |
| 4. 無償事務局ボランティア(主に事務局業務を担うボランティア) |
| 5. 無償その他ボランティア(事務局業務以外の活動を担うボランティア) |

【問 8 で「1. 正規職員」「2. 非正規職員」と答えた方に】 → 【問 18 へ進んでください】

問 9. 現在の NPO での活動時間は 1 週間当り何時間ですか。(平均的な残業時間も含めてお答えください)

1 週間当り _____ 時間 _____ 分

問 10. 現在の NPO からどのような形であなたに賃金が支給されていますか。その額もお答えください。

1. 年俸 _____ 円/年
2. 月給 _____ 円/月
3. 日給 _____ 円/日
4. 時給 _____ 円/時

問 11. あなたの現在の NPO における賃金は、主にどのような制度(賃金表など)に基づいて決定されていますか。(○は1つ)

1. 年齢や勤続年数を重視した制度
2. 資格や能力を重視した制度
3. 職務や職種を重視した制度
4. ミッションや事業などの成果を重視した制度
5. 時給などで一律に決定
6. 場合に応じて決定(明確な制度がない)
7. 分からない

問 12. あなたは、現在の NPO における賃金の決定方法についてどう評価していますか。(○は1つ)

1. 現状のままでよい
2. 若干改善すべき問題あり
3. 抜本的に改善すべき問題あり
4. 分からない

問 13. 賃金は評価制度(人事考課・査定)の結果によって変わりますか。(○は1つ)

1. 変わる
2. 変わらない
3. 評価制度はない

問 14. 有給職員になった時点から現在まで賃金はどのように変化しましたか。(○は1つ)

1. 上昇傾向
2. 低下傾向
3. 上がったたり下がったり
4. ほとんど変化はない

問 15. 現在の NPO から支給された賃金について、最も高かったときと低かったときの金額を年収に換算してお答えください。

最も高かったとき _____万円/年 最も低かったとき _____万円/年

問 16. 現在の NPO における処遇全般に対して、あなたは満足していますか。(○は1つ)

1. 満足している 2. まあ満足している 3. どちらともいえない
4. やや不満である 5. 不満である

問 17. あなたの仕事内容は有償ボランティア、無償ボランティアと比べると、どの程度異なりますか。

1. まったく同じ 2. ほぼ同じ 3. 一部同じ
4. まったく異なる 5. そのようなボランティアはいない

有償ボランティアと比べて <input type="checkbox"/>	無償ボランティアと比べて <input type="checkbox"/>	→ 【問 21 へ 進んでください】
---------------------------------------	---------------------------------------	-----------------------

【問 8 で「3～5. ボランティア」と答えた方に】

問 18. 現在の NPO での活動時間は1ヶ月当り何時間ですか。

1ヶ月当り _____時間程度

問 19. 活動に際して、交通費などの経費や謝礼は、どのような形で支払われていますか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. 現金や現金化できる謝礼の支払 | 2. 現金化できない謝礼の支払 |
| 3. 交通費などの経費の実費支払 | 4. 交通費などの経費の一定額支払 |
| 5. 支払は一切ない | 6. その他(具体的に: _____) |

付問 1. その謝礼は、時間預託やエコマネーの活用ができますか。(○は1つ)

1. 活用できる 2. 活用できない 3. 分からない

付問 2. 【問 19 で「1. 現金や現金化できる謝礼の支払」と答えた方に】

昨年(2004年)1年間にあなたが受け取った謝礼金(交通費などの経費は除く)はおよそいくらでしたか。また、1時間当りの金額が決まっている場合いくらですか。

年間 _____万_____千円 1時間当り _____円

問 20. あなたの活動内容は有給職員や活動形態の異なるボランティア(有償ボランティアの場合は無償、逆に無償ボランティアの場合は有償)と比べて、どの程度異なりますか。

1. まったく同じ 2. ほぼ同じ 3. 一部同じ
4. まったく異なる 5. 比べる対象者がいない

有給職員と比べて 活動形態の異なるボランティアと比べて

【全員の方に】

問 21. 現在の NPO 内で、これまでに活動形態が変わったことがありますか。(問 8 の分類をご参照ください) ある場合は、変わった回数をお答えください。

1. ある → 変わった回数 _____ 回

2. ない → 【問 26 へ

進んでください】

【問 21 で「1. ある」と答えた方に】

問 22. 活動形態はどのように変わりましたか。現在の活動形態(問 8 の回答)の直前の活動形態をお答えください。(○は1つ)

1. 正規職員 2. 非正規職員 3. 有償ボランティア 4. 無償ボランティア

問 23. 現在の活動形態(問 8 の回答)に変わった時期はいつですか。

西暦 _____ 年 _____ 月

問 24. 現在の活動形態(問 8 の回答)に変わったきっかけは何ですか。(○は1つ)

1. NPO や出向元から要望があり受け入れた
2. 自分から要望して受け入れられた

問 25. 現在の活動形態(問 8 の回答)に変わった主な理由は何ですか。(○は1つ)

1. 知識、能力などが向上したから(資格取得、教育訓練、留学など)
2. 経験を積んだから
3. 生活、環境などが変化したから(家庭の事情、新たな就業など)
4. 現在の NPO の置かれている状況が変化したから
5. その他(具体的に: _____)

【全員の方に】

問 26. あなたにとって最も理想的だと思う現在の NPO での活動形態をお答えください。(○は1つ)

1. 正規職員 2. 非正規職員 3. 有償ボランティア 4. 無償ボランティア

問 27. 現在の NPO であなたがやっている活動内容をすべてお答えください。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|------------------------------|
| 1. 組織全体の事業計画・運営・管理 | 2. 個々のプロジェクトの企画・運営 |
| 3. 資金調達 | 4. 会計・経理 |
| 5. 人事(職員の採用、管理) | 6. ボランティアコーディネート |
| 7. 行政や企業との連携 | 8. 広報(機関誌やインターネットでの情報発信など) |
| 9. 一般事務 | 10. 専門的な仕事(福祉、教育、IT、医療など) |
| 11. 1~10 の業務の補助的な仕事 | 12. 現場での活動(助け合い活動、イベント手伝いなど) |
| 13. その他(具体的に: _____) | |

付問. 選択した活動内容の中で、主なものを1つご記入ください。

問 28. 現在の NPO での活動に直結する資格を取得していますか。取得している場合は、主な資格名と取得年をご記入ください。

1. 取得している → 資格名 _____ 取得年 西暦 _____ 年
 2. 取得していない

問 29. 現在の NPO で活動し始めてから、参加したことがある講座やセミナーの内容をすべてお答えください。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 1. 組織全体の事業計画・運営・管理 | 2. 個々のプロジェクトの企画・運営 |
| 3. 資金調達 | 4. ボランティアコーディネート |
| 5. 行政や企業との連携 | 6. 専門業務（会計、経理、法務、広報など） |
| 7. 一般業務（ビジネススキルなど） | 8. 特になし |
| 9. その他（具体的に： _____） | |

問 30. 次の (a)～(h) の各項目について、あなたが現在の NPO で活動することのメリットとして、どの程度あてはまるかをお答えください。(○はそれぞれ1つ)

あてはまる ややあてはまる あまりあてはまらない あてはまらない

- | | | | | | | | |
|---------------------------|---|-------|---|-------|---|-------|---|
| (a) 人の役に立ち社会に貢献できている | 1 | ----- | 2 | ----- | 3 | ----- | 4 |
| (b) 自分の経験や能力が活かされている | 1 | ----- | 2 | ----- | 3 | ----- | 4 |
| (c) 新しい知識や技術が身についている | 1 | ----- | 2 | ----- | 3 | ----- | 4 |
| (d) 生活に必要な収入が得られている | 1 | ----- | 2 | ----- | 3 | ----- | 4 |
| (e) 私生活でもスタッフやメンバーと交流がある | 1 | ----- | 2 | ----- | 3 | ----- | 4 |
| (f) 周りから注目、評価されている | 1 | ----- | 2 | ----- | 3 | ----- | 4 |
| (g) 地域の情報など、必要な情報を得られている | 1 | ----- | 2 | ----- | 3 | ----- | 4 |
| (h) 自分の意見や考えが組織運営に反映されている | 1 | ----- | 2 | ----- | 3 | ----- | 4 |

問 31. 次の (a)～(i) の各項目について、あなたが現在の NPO で活動することのデメリットとして、どの程度あてはまるかをお答えください。(○はそれぞれ1つ)

あてはまる ややあてはまる あまりあてはまらない あてはまらない

- | | | | | | | | |
|---------------------------|---|-------|---|-------|---|-------|---|
| (a) 拘束時間が長い | 1 | ----- | 2 | ----- | 3 | ----- | 4 |
| (b) 活動経費（ポケットマネー）の持ち出しが多い | 1 | ----- | 2 | ----- | 3 | ----- | 4 |
| (c) 寄付や会費の負担が重い | 1 | ----- | 2 | ----- | 3 | ----- | 4 |
| (d) 責任や仕事の負担が重い | 1 | ----- | 2 | ----- | 3 | ----- | 4 |
| (e) 人間関係がうまくいかない | 1 | ----- | 2 | ----- | 3 | ----- | 4 |
| (f) 団体の方針や考えに合わない | 1 | ----- | 2 | ----- | 3 | ----- | 4 |
| (g) 資格・免許の取得や、勉強すべきことが多い | 1 | ----- | 2 | ----- | 3 | ----- | 4 |
| (h) 体力的、能力的に負担を感じる | 1 | ----- | 2 | ----- | 3 | ----- | 4 |
| (i) 怪我や事故などの危険がともなう | 1 | ----- | 2 | ----- | 3 | ----- | 4 |

問 32. 次の (a) ~ (d) の各項目について、あなたは、現在の NPO 内でどの程度関与していますか。(○はそれぞれ1つ)

かなり関与している やや関与している あまり関与していない 関与していない

(a) 組織運営やミッションの方針決定 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ 1 ----- 2 ----- 3 ----- 4

(b) 所属 NPO の運営にとって重要な人との連携 ○○○○○○○○○ 1 ----- 2 ----- 3 ----- 4

(c) 組織の全般的な業務 ○○○ 1 ----- 2 ----- 3 ----- 4

(d) 個々のプロジェクト ○○○ 1 ----- 2 ----- 3 ----- 4

問 33. 今後の NPO 活動についてどのような見通しを持っていますか。(○は1つ)

- 1. 可能な限り現在の NPO で活動を続けたい
- 2. ある一定期間だけ現在の NPO で活動を続けたい
- 3. 他の NPO に活動拠点を移したい
- 4. NPO 活動をやめたい

付問. 現在の NPO で活動を続ける期限が決まっている場合は、その具体的な時期をお答えください。そうでない場合は、およそ何歳頃まで活動を続けたいかをお答えください。

西暦 _____ 年まで、あるいは、 _____ 歳頃まで

問 34. 今後のあなたの進路について主にどのような希望がありますか。(○は1つ)

- 1. 企業で正規社員として働く
- 2. 企業で非正規社員 (パート、派遣など) として働く
- 3. 公務員として働く
- 4. 自営、自由業を営む
- 5. NPO を立ち上げる
- 6. 学校に入学する (大学、大学院、専門学校など)
- 7. 現状のままでよい
- 8. その他 (具体的に: _____)

問 35. 現在の NPO 以外での、あなたの主なご職業をお答えください。(○は1つ)

1. 企業や団体などの正規社員、職員	2. 経営者、自営業主
3. 企業や団体などの非正規社員、職員	4. 他の NPO の有給職員
5. 専業主婦	6. 学生
7. 現在の NPO 以外では仕事をしていない	8. その他 (具体的に: _____)

付問. 現在までに正規社員、職員、経営者、自営業主として、就業した経験はありますか。

- 1. はい
 - 2. いいえ
- 【問 38 へ進んでください】

【正規社員、職員、経営者、自営業主としての就業経験がある方に】

問 36. 現在までの正規社員、職員、経営者、自営業主としての勤続年数の合計をお答えください。

_____ 年

問 37. 現在までに、最も長く経験した仕事の内容をお答えください。(○は1つ)

- | | | |
|-------------|-------------------------|----------|
| 1. 経営・管理 | 2. 人事・総務 | 3. 会計・経理 |
| 4. 法律・法務 | 5. 広報・宣伝・渉外 | 6. 営業 |
| 7. 研究開発 | 8. 一般事務 | 9. 販売・接客 |
| 10. 製造・組み立て | 11. 業務補助・軽作業 | 12. 教育 |
| 13. 医療・福祉 | 14. その他（具体的に：
_____） | |

【全員の方に】

問 38. これまでに他の NPO で有給職員としての就業経験がある場合は、その勤続年数の合計をお答えください。ない場合は、0 年とお答えください。

_____年

問 39. あなたはボランティアへの支払いはどれが適当だと考えますか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------|------------------------|
| 1. 現金や現金化できる謝礼の支払 | 2. 現金化できない謝礼の支払 |
| 3. 交通費などの経費の実費支払 | 4. 交通費などの経費の一定額支払 |
| 5. 支払は一切必要ない | 6. その他（具体的に：
_____） |

問 40. NPO でのあなたの立場は「労働者」だと思いますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------|-------------|
| 1. そう思う | 2. ややそう思う |
| 3. あまりそう思わない | 4. 全くそう思わない |

問 41. 現在の NPO 以外に、所属して実際に活動しているグループ・団体があれば、すべてお答えください。(○はいくつでも)

1. 地縁的な活動に関するグループ・団体（自治会、町内会、青年団など）
2. 余暇、趣味、娯楽活動に関するグループ・団体
3. ボランティア、NPO、市民活動に関するグループ・団体
4. その他のグループ・団体（具体的に：
_____）
5. 特になし

問 42. 次の (a) ~ (e) の各項目について、あなたはどの程度満足していますか。(○はそれぞれ1つ)

	満足 している	まあ満足 している	やや不満 である	不満 である	該当 しない
(a) 家庭	1	2	3	4	
(b) 現在の NPO 活動	1	2	3	4	
(c) NPO 以外の仕事	1	2	3	4	5
(d) 近隣関係	1	2	3	4	
(e) 生活全体	1	2	3	4	

F1. 性別と満年齢をお答えください。

1. 男性 2. 女性 満 _____ 歳

F2. 配偶者はいますか。

1. いない 2. いる → 付問. 配偶者は収入をともなう仕事に就いていますか。
1. 就いている 2. 就いていない

F3. お子さんはいますか。

1. いない 2. いる → 付問. 一番下の方の満年齢をお答えください。
満 _____ 歳

F4. 家族の介護、介助の経験がありますか。

1. ある 2. ない

F5. 最終学歴（在学中の場合も含む）をお答えください。（○は1つ）

1. 中学校	2. 高等学校	3. 短期大学、高等専門学校	4. 大学
5. 大学院	6. 各種学校、専門学校	7. その他（具体的に： _____ ）	

↓
付問. 現在、その学校に在学中ですか。

1. 在学中である 2. 卒業している

F6. 昨年（2004年）1年間の「①世帯全体の収入」、「②現在のNPOからのあなたの収入」、「③②以外の仕事によるあなたの収入」は、それぞれ税込みでおよそいくらでしたか。ただし、勤続1年未満の方は1年間働いた場合の見込み額でお答えください。（収入がない場合は0と記入してください）

①世帯全体の収入	②現在のNPOからの収入	③②以外の仕事による収入
万円	万円	万円

F7. 昨年（2004年）1年間にあなたが現在のNPOに納めた会費と寄付した額はいくらですか。

会費 _____ 円 寄付額 _____ 円

F8. あなたは現在のNPOで次の保険などに加入していますか。（○はいくつでも）

1. 雇用保険 2. 健康保険 3. 厚生年金
4. ボランティア保険など 5. いずれも加入していない 6. 分からない

F9. どうしたらNPOでの活動が行いやすくなるでしょうか。ご意見をご記入ください

以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました。
8月31日（水）までに返信用封筒（切手不要）にてご返送ください

労働政策研究報告書 No.82
NPO 就労発展への道筋
—人材・財政・法制度から考える—

発行年月日 2007年3月30日
編集・発行 独立行政法人 労働政策研究・研修機構
〒177-8502 東京都練馬区上石神井4-8-23
(編集) 研究調整部研究調整課 TEL:03-5991-5104
(販売) 広報部成果普及課 TEL:03-5903-6263
FAX:03-5903-6115
印刷・製本 株式会社 上野高速印刷

©2007

*労働政策研究報告書全文はホームページで提供しております。(URL:<http://www.jil.go.jp/>)

労働政策研究報告書 No.82

NPO 就労発展への道筋

—人材・財政・法制度から考える—

定価：1,365円(本体1,300円)

発行年月日 2007年3月30日

編集・発行 独立行政法人 労働政策研究・研修機構

〒177-8502 東京都練馬区上石神井4-8-23

(編集) 研究調整部研究調整課

TEL:03-5991-5104

(販売) 広報部成果普及課

TEL:03-5903-6263

FAX:03-5903-6115

印刷・製本 株式会社 上野高速印刷

©2007

ISBN978-4-538-88082-2

*労働政策研究報告書全文はホームページで提供しております。(URL:<http://www.jil.go.jp/>)